

第5回会合資料①

保存・公開に向けた今後の取組について

- | | |
|----------------------------------|---|
| 1. 第4回会合の概要 | 1 |
| 2 今後の取組（案） | 2 |
| 3 第32軍司令部壕保存・公開ロードマップ（案） | 3 |
| 4 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会令和4年度開催計画（案） | 4 |

令和4年3月28日

第32軍司令部壕保存・公開検討委員会

1 第4回第32軍司令部壕保存・公開検討委員会概要

〈今後の調査方針案及びロードマップ案〉

1 第1坑道（未発掘区間）の実態把握

→物理探査による第1坑道・坑口の位置特定のための調査

2 第2・3、第5坑道（発掘済区間）の安全性に係る検討

→ボーリング調査等による岩盤の状態や物性の検討、地下水調査による地下水排除に係る影響の検討

3 対外的な発信

→調査の見える化、WEBツアー等WEBを用いた先行公開について検討

4 保存・公開に向けたロードマップ案

〈委員からの主な意見〉

- ・ロードマップに公開年度を示すべき。
- ・令和8年度の首里城正殿の完成にあわせて可能な箇所から公開すべき。
- ・文化財指定する場所について入壕できる場所は全部公開すべき。
- ・首里城正殿の完成までに第1坑口が判明できるよう調査をしてほしい。
- ・早期公開が可能な場所は第5坑道である。第5坑道の公開が可能かどうかを判断するために安全性の検討を早めに行ったほうがよい。
- ・保存・公開する上で地下水は非常に重要な課題であるため、排水を行う上で周辺の調査が必要である。
- ・各調査を進めつつ、実際に調査を行っている状況をWEBで公開するとよい。
- ・首里城公開と連動させて成果物をみせる。
- ・文献調査は続けたほうがよい。公開に向けた調査と併せて司令部壕に関する資料や証言をまとめておくこと。

2 今後の取組（案）

第4回会合委員意見及び基礎調査報告等を踏まえ今後の取組(案)を作成。

○第5坑口周辺の土地取得、坑口公開【優先事項】

○第1坑口坑道（未発掘区間）調査、坑口公開【優先事項】

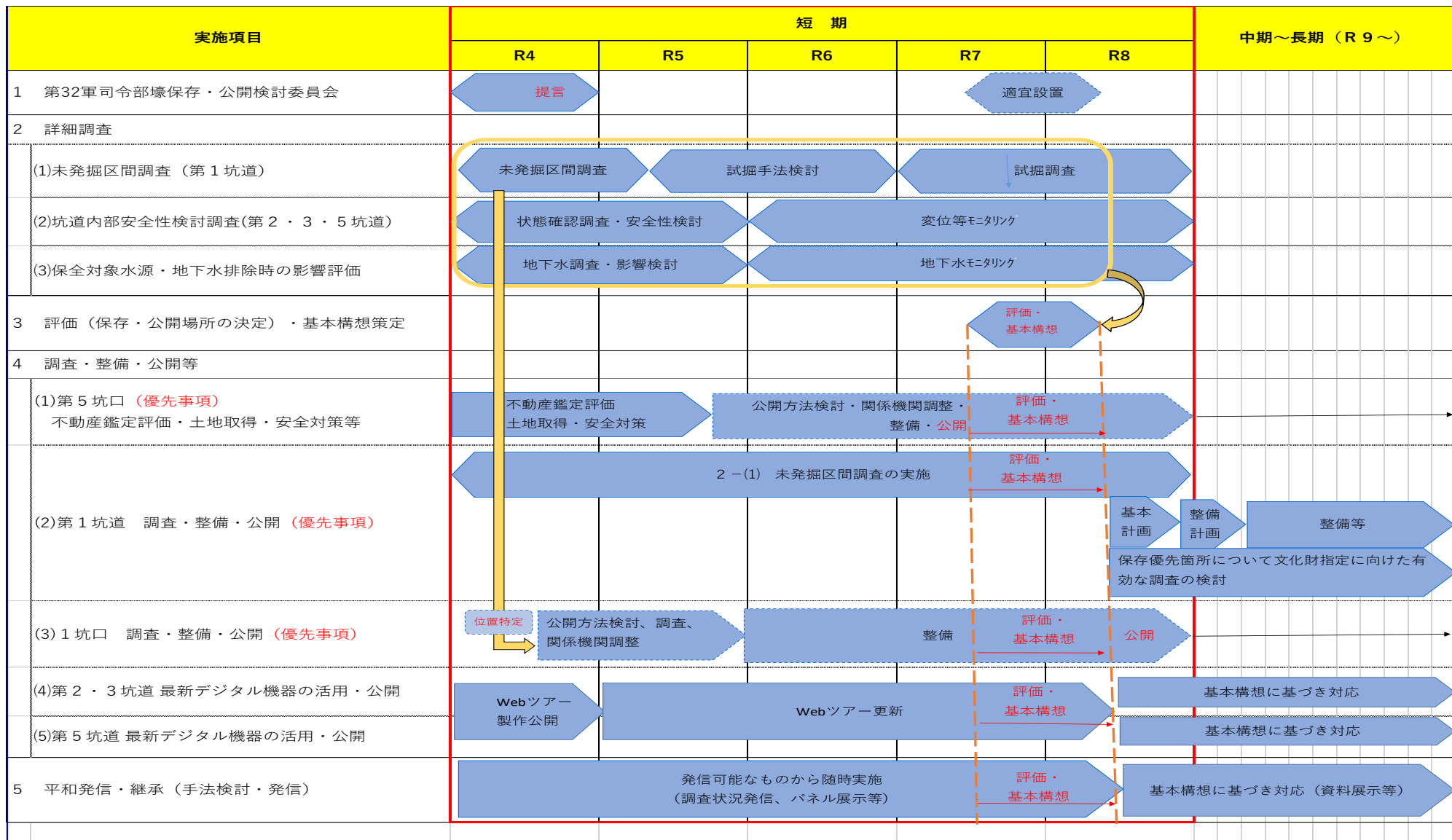
○第2・第3・第5坑道の詳細調査を行うとともにデジタル技術を活用した公開・発信

○令和4年度詳細調査の状況を踏まえ公開に向けた一定の方向性を知事へ提言

年度	第5坑口の取組【優先事項】	第1坑口坑道の取組【優先事項】	第2・第3・第5坑道の取組
R4～7年度	<ul style="list-style-type: none"> 坑口周辺の土地取得 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細調査（未発掘区間位置特定調査）の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 詳細調査（安全性検討調査、水関係調査）の実施
	保存・公開検討委員会から知事への提言（R4年度末）		
R8年度	<ul style="list-style-type: none"> 坑口周辺の安全対策及び関係機関調整 坑口公開に向けた整備・公開 	<ul style="list-style-type: none"> 坑口公開方法の検討及び関係機関調整 坑口公開に向けた整備 	<ul style="list-style-type: none"> 全範囲最新デジタル技術を活用した坑道内部の公開・発信
	坑口公開		
詳細調査の結果等を踏まえた保存・公開の評価及び基本構想の策定			
【参考】			
現状及び課題	<ul style="list-style-type: none"> 民有地かつ急傾斜地に位置している 公開に向けて安全性確認が必要 坑口周辺の土地取得に向けた地権者との調整 	<ul style="list-style-type: none"> 位置不明 大部分が国有地に位置していると想定される 地上部に首里城等の文化財があるため、公開に向けて取組を進める場合は関係機関との調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公開に向けて安全性確認が必要(共通) 国有地・県有地・市有地に位置していると想定される（第2・第3坑道） 坑道内で湛水又は一部水没の発生（第2・第3坑道） 坑道内で岩盤崩落の発生(第2・第3坑道) 地上部に首里城等の文化財があるため、公開に向けて取組を進める場合は関係機関調整が必要（第2・第3坑道）

3 第32軍司令部壕保存・公開ロードマップ（案）

実施項目・期間については取組の進捗状況や詳細調査の結果等を踏まえ見直し・更新を行う。



4. 第32軍司令部壕保存・公開検討委員会 令和4年度開催計画（案）

〈令和4年度保存・公開検討委員会について〉

本委員会の中に①技術検討グループ、②平和発信・継承グループを置き、課題に応じて各グループに分かれ調査・検討を行う。各グループの検討結果を本委員会において審議し、令和4年度末に知事へ提言を行う。

第32軍司令部壕保存・公開検討委員会

- 1 検討内容：(1)詳細調査、(2)今後の取組（案）、(3)平和発信・継承方法、(4)提言
- 2 開催回数：2回程度
- 3 提言時期：令和4年度末



技術検討グループ

- 1 検討内容：
上記1検討内容の(1)、(2)、(4)に係る
検討・助言
- 2 開催回数：随時
- 3 構成員：技術分野委員

平和発信・継承グループ

- 1 検討内容：
上記1検討内容の(2)、(3)、(4)に係る
検討・助言
- 2 開催回数：2回程度
- 3 構成員：
学術、沖縄戦、平和、文化財、
地域振興、観光分野委員